

保護者の皆様

川崎市立富士見台小学校  
校長 中川 正彦

令和6年度 川崎市学習状況調査、全国学力・学習状況調査  
結果の概要と今後の取り組みについて

日頃より本校の教育活動にご理解とご協力をいただきありがとうございます。4月10日（水）～12日（金）に行いました4～6年生対象の川崎市学習状況調査の結果と、4月18日（木）に行いました6年生対象の全国学力・学習状況調査の結果をご報告します。

本校では学校教育目標『個性輝く 豊かな人間性を培い たくましく生きる子の育成』の実現をめざしています。「豊かな心～やさしく～」 「確かな学力～かしこく～」 「健やかな身心～たくましく～」の三つの柱を大切に、日々の教育活動に取り組んでおります。

今回の調査結果を、学校づくりに生かす観点から分析し、本校が目指す教育活動の成果と課題、今後の取り組みについてまとめました。なお、本調査によって測定できるのは児童の実態の一部であり、学校における教育活動の側面ですので、本資料につきましては、本校の教育活動の成果と課題を把握するための一つの指標としてお考えください。また取り組みの様子は、今後の学校だよりや懇談会、学校報告会等でもお伝えします。

**学校教育目標：『個性輝く 豊かな人間性を培い たくましく生きる子の育成』**

○豊かな心 ～やさしく～ 「ふじみっ子で創る『一人一人が輝く学校』」

…みんなが気持ちよく安心して過ごせる学校、笑顔あふれる学校

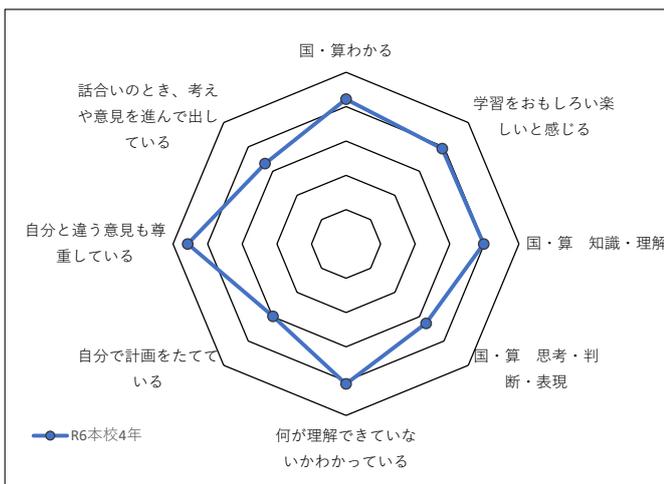
○確かな学力 ～かしこく～ 「子供が主語の学びをつくる」

…主体的で協働的な学び、基礎的な知識・技能の習得・定着

○健やかな身心 ～たくましく～ 「心も体も元気いっぱい」

…持続可能な取り組みの充実、笑顔のあふれる学校

**令和6年度 川崎市学習状況調査 4年生**



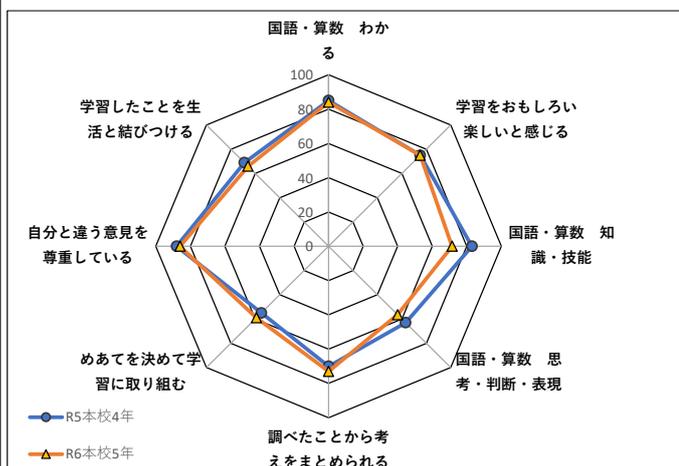
・「国語・算数<知識・理解>」「国語・算数<思考・判断・表現>」は、令和5年度の4年生とほぼ同じ水準を保っています。また、「国語・算数わかる」「学習がおもしろい楽しいと感じる」が8割程度となっており、「わかる」「おもしろい」という気持ちが、教科の知識・理解と連動しています。また、「何が理解できていないかわかっている」は82ptである一方、「自分で計画をたてている」は60ptと開きがあります。見通しをもって学習を進めることに、課題があるようです。子どもの意欲を高めながら、学習の計画や取り組み方を伝えることで、主体的で協働的な学習が広がり、さらなる学力の向上を目指します。

・「自分と違う意見を尊重している」が92ptと高い一方で、「話し合いのときに、考えや意見を進んで出している」が66ptでした。この結果から、相手を受け入れながら自分の考えや意見をもったり発信したりする機会を増やし、「豊かな心」の醸成に努めてまいります。

本校4年生の平均正答率

	国語・算数 <知識・理解>	国語・算数 <思考・判断・表現>
R5年度	83	63
R6年度	80	65

## 令和6年度 川崎市学習状況調査 5年生



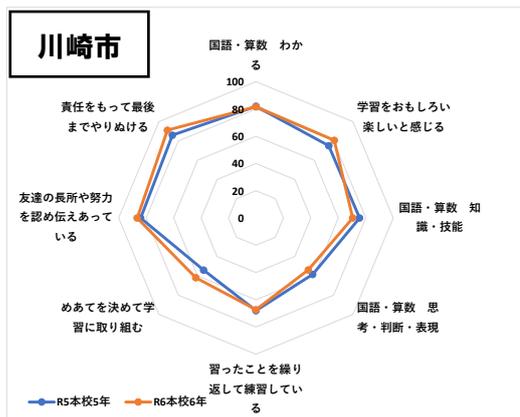
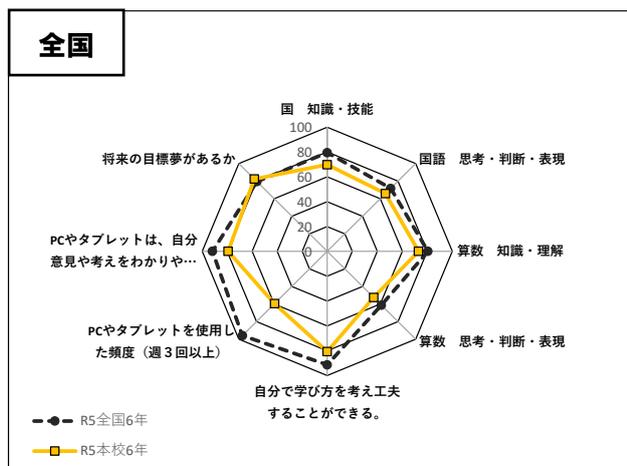
本校5年生の平均正答率

	国語・算数 <知識・理解>	国語・算数 <思考・判断・表現>
R5年度	76	59
R6年度	72	57

- ・「国語・算数<知識・理解>(72pt)」「国語・算数<思考・判断・表現>(57pt)」で、令和5年度の5年生と大きな差はありませんでした。4年生の頃との比較では「国語・算数の授業がわかる」「学習をおもしろい楽しいと感じる」は、ほぼ変わりありません。「調べたことから考えをまとめられる」が3ptの上昇、「めあてを決めて学習に取り組む」が4pt上昇しています。この結果から、主体的に学習に取り組む中で、学ぶ意欲とともにめあてをもって学習に取り組むことができ、まとめる力などの「学び方」についても向上してきていると考えます。今後も主体的に学習する機会を増やし、学力の維持、向上に努めます。
- ・「自分と違う意見を尊重している(86pt)」は、昨年度とほぼ変化はありませんでした。この項目は学校教育目標にある「豊かな心」の育成には重要な要素です。さらなる経験を積みこの水準を維持し向上できるよう努めてまいります。

## 令和6年度

## 川崎市学習状況調査・全国学力調査 6年生



本校6年生の平均正答率

	国・算 <知・理>	国・算 <思・判・表>
R5年度	72	65
R6年度	70	54

- ・川崎市学力状況調査の結果を令和5年度の6年生と比較すると、「国語・算数<知識・技能>」はほぼ同じ、「国語・算数<思考・判断・表現>」はやや低い結果でした。また、全国学力調査の結果では、国語と算数の知識・理解、国語と算数の思考・判断・表現は全国より高い結果でした。これらの結果から、概ね令和5年度の6年生と同じ水準を保っていると考えています。
- ・全国学力調査の「PCやタブレットを使用した頻度(週3回以上)」が96pt、「PCやタブレットは自分の意見や考えをわかりやすく伝えられる」では92ptと非常に高い結果でした。川崎市の学習状況調査「国語・算数がわかる」は令和5年度の6年生とほぼ同じでしたが、「学習が面白いと感じる」では6pt上昇しました。このことから、学習にPCやタブレットが導入され、教師が主体的に学習できる授業づくりを展開することで、児童が学習にめあてをもち、学び方を工夫することで、おもしろさを感じられるようになったと考えます。また、児童は機器の特徴をつかんで使用していることがわかりました。
- ・川崎市学習状況調査「友達の良い所や努力を認め合っている」「責任をもって最後までやりぬける」は令和5年度の6年生に比べ、少し上昇しました。一方で、全国学力調査「将来の目標・夢があるか」では、全国平均よりやや低い結果となりました。互いに認め合いながら責任をもって行動することが、将来の夢や希望につながるよう今後も努めてまいります。